



小さな愛の種を蒔こう
FVI「声なき者の友」の輪
Friends with the Voiceless International

からし・ネット公開中
<http://www.karashi.net>

世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 46 (2022年9月発行)

—— 飢えた者に心を配り、苦しむ者の願いを満たすなら、あなたの光は闇の中に輝き上り、
あなたの暗闇は真昼のようになる。 旧約聖書 イザヤ 58:10 ——

「声なき者の友の輪」が創立されて以来12年間、世界で苦しむ方々の友になって、心と手を開いてきてくださってきた皆さまと力を合わせて「闇に輝く光」としての役割の一端を担わせていただけたことを感謝しています。スタートした13年目も「からし種」の働きを進めてまいりましょう。 代表カタリスト・神田英輔

エチオピアの教育格差改善に、一緒に手を差し伸べてくれませんか？ コロナの影響によって浮き上がったエチオピア・アカコ村の貧困に仕える



人口約1万人のオロミヤ州アカコ村には、オロミヤ語とアムハラ語という2つの別の言語で話す人々が住んでいます。元々オロミヤ語の人々の地域なのですが、首都のアディスアベバの地価が高騰しているためアムハラ語だけを話す人たちも、土地の安いこの村へ移り住み始めました。標高3,000mに位置するアカコ村と首都の標高差は約800mあり、インフラ整備が行き届いておらず不安定な気候の住みにくい土地です。首都から近いのですが行き来には時間がかかります。

【アカコ村の子ども達の学校事情】 村内にはオロミヤ語で授業をする公立学校が1校しかなく、アムハラ語しか話せない子どもは授業に参加することができません。そのような子どもたちが学校に行くためには村内の私立校へ学費を納めて通うか、バスで片道1時間以上かけてアディス市内の公立校に通うしかありません。この地域の貧しい人々にはいずれの支払いも難しく、学業を続けたい子は13歳になると放課後や夏休みに毎日仕事をして家に帰るのが一般的です。

【コロナ禍で見えてきた問題】 公立校の通学日数に規制がかかり、密になるバス通学を避けるために通学を断念せざるを得ない子どもたちが出てきました。一度学ぶことを辞めてしまうと勉強に追いつくのに時間や労力がかかるため復学が難しくなります。アカコ村にある私立校の教師デレジェから、その状況に手を差し伸べたいと相談がありました。村で唯一の大卒者で、アムハラ語とオロミヤ語の両方を話すことができ、スウェーデンのバイブルカレッジで弟子訓練プログラムを受けた経験もある彼ですが、貧しい家庭に生まれ、5歳の時に両親を亡くし、預けられた親戚から虐待を受けました。そ



こから逃げるように路上生活をしていましたが、キリスト教NGOの支援に助けられて成長し、社会人になってからはエチオピアの子どもの貧困問題に仕える使命を持ってこの村に住みながら働いています。2021年2月からは日本にいる湯本とリモート協働で放課後や夏休みに無料で通える補習学校（Dream to shine free school）を開始しました。勉強を教えると共に、子どもたちが夢に向かって学びを続けていくことができるよう、地域の大人たちとも信頼関係を築いています。



【3年ぶりのエチオピア訪問】 今年の夏、私（湯本）は3年ぶりにエチオピアを訪問し、学校や村の様子を伺いながら絵画授業も行ってきました。12歳までの子どもを対象とした授業には教室いっぱい約25名の子どもたちが毎日学びに来ていました。その様子を見た保護者から正式に学校への入学の申込もありました。

【この活動を継続するために、みなさまからのご支援を必要としています】 都市部では子どもの教育にお金をかける人たちが増えている一方、田舎では教育の意義が分からずに辞めさせてしまうことも多く教育格差が広がっています。アディスアベバのストリートチルドレンのほとんどは農村部からやってくるため、路上生活になってしまう前に予防したいというのが私たちの願いです。一時的な支援でなく教育の大切さを地域全体に伝えながら子ども達を支え続けることで長期的に豊かな実を結ぶと信じています。皆様からのお祈りとご支援を戴けますと幸いです。（湯本）



ウクライナ支援 その後

皆様の貴いご支援により、8月までに合計3,862,320円を首都キーウのKJMC集会に送金することができました。国内避難民のための食料品、衣服、医療品、日用品などキーウを始め、国内各地の拠点に届け、各地域の必要な人々に平安の祈りと共に配布するために用いられました。残念ながら、侵攻から7か月になる現在も東部と南部では一進一退の戦闘が続き、国全体で緊張状態が続いています。占領地から逃れた方々は避難民になり、不安定な生活を続けています。引き続き、必要が届けられ、戦争が一刻も早く終結しますように、お祈りをお願いいたします。

その他の活動（2022年6月～8月）

練馬グレースチャペル、東京武蔵野福音自由教会、東村山福音自由居愉快、立川福音自由教会、東京センターチャーチ（以上東京都）、南浦和バプテスト教会、川口福音自由教会、戸田福音自由教会（以上埼玉県）、東京基督教大学、聖望キリスト教会（以上千葉県）、ジーザスファミリーチャーチ、（神奈川県）、万座温泉ホテル（群馬県）などで、カタリストとしての奉仕をさせていただきました。参加して下さった方々、共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「F V I」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京U F J銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。

*このレターは、希望された方に郵送させていただきます。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。

*国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email:info@karashi.net 090-3036-2776（神田）